

平成30年度 園芸学研究科・園芸学部 学生との懇談会 議事録

日 時：平成30年11月15日（木） 17:00～18:15

場 所：学生ホール

出席者等：学生側 10名

大学側 小林研究科長・学部長、後藤学務委員長、松岡教務委員長、坂本学生生活委員長、
櫻井国際交流委員長、菊地アカデミック・リンク担当課長、宮近事務長、林副事務長、
中村(一)総務係長、石山会計係長、堤学務係長、伊藤学生生活担当専門職員、野田附
属図書館松戸分館係長、江学務係特任専門職員、佐藤学務係員、
小松学生生活担当主任
オブザーバー 教育企画課教育企画係 川原係長、藤原主任

小林研究科長

今日は「授業外学修の充実について」がテーマとなっており、それを中心に懇談を行います。それから12月17日（月）14:30から西千葉で行われる学生参画会議へ、本日出席の学生から、学部生1名、大学院生1名（大学院生は任意）に出席していただき、園芸学研究科・園芸学部の意見を学生側から提案してもらう予定です。

このテーマは、学生側だけの問題ではなく、むしろ教員側の問題や図書館等施設の問題が大きいと考えているので、そういった面の注文についても、ぜひ意見をいただきたい。

松岡教務委員長

【平成30年度園芸学部長と学生との懇談会に向けての資料 に基づき説明】

留学等で海外の大学と単位互換する上でも、1単位45時間の学修時間を充てる必要がある。

後藤学務委員長

【平成30年度園芸学研究科長と学生との懇談会に向けての資料 に基づき説明】

基本的には学部と同様の方針である。

海外の大学院では、学生は学修時間をしっかり確保している。

学部とは異なる授業外学修のあり方についても、ご意見をいただきたい。

小林研究科長

それではこれから学生の意見を聞いていきます。授業外学修の充実のために自身が努力・工夫あるいは苦労していることや、大学に改善をお願いしたいこと等、自由に意見をお聞かせください。

修士1年（応）

大学院では、実験をメインに行うため、講義は集中講義を中心に取りたいと考えている。しかし、集中講義の日程が直前まで決まらず、例えば前期（T1T2）集中となっても実際の日程が夏季休業期間だと、インターンシップや就職活動もあり見通しが難しい。授業のスケジュールの組み立て方を改善してほしい。

小林研究科長

スケジュールが決まらないのは良くないので改善したい。大学院も学部同様に時間割を決める、あるいは集中講義についても遅くともターム開始前までに講義日を決めることを原則としたい。

博士2年（緑）

大学院は授業の数も少ないので、授業外学修がメインになる。大学院では論文に触れることが一番重要と考える。ゼミに出ていると、論文を読んでいる人が少ない印象。自分が工夫していることとしては、自分で論文をレビューするシートを作り、自分のデータベースとしてキーワード等を整理し、自分の論文を書くときにも役立っている。研究手法を身につけるためにも重要。教員からも、どのように論文に触れてきたか、経験を話してもらうことで、学生の研究へのモチベーションにつながる。数多くの論文を読むことで、自分の研究との比較ができ、オリジナリティがあるという裏付けになり、自信が持てると思う。

小林研究科長

海外（アメリカ）では、シラバスに授業に関連のある論文・参考文献が載せており、学生は事前にそれらを読み込んだ上で授業に参加し、授業は質問するための場となっている。

後藤学務委員長

非常に良い意見。講義の中で教員が（論文を読むことを）意識して示していく必要があると考える。

学部3年（応）

1年次のうちに西千葉で普遍教育科目を取りきらないと、2年次からは松戸と西千葉の両方に通うことになる。1～2年次は1日4コマになる日もあり、授業外学修時間の確保が難しい。2年次以降も松戸で履修できる普遍教育科目の開講数を増やせないか。

小林研究科長

昔は1～2年次が西千葉、3～4年次が松戸だったので、今よりも少し余裕があった。質問の趣旨としては、授業外学習時間をちゃんと確保できる時間割の検討をお願いしたいということでしょうか。もっともな意見と思う。

松岡教務委員長

（2年次以降の）専門科目を西千葉でやるという考え方もある。教員が西千葉で授業を行う方が、学生が松戸に行くよりも移動の人数は少ない。可能性として検討する。

学部3年（園）

自分は1単位45時間ということを入学後ずっと意識してきた。工夫していることとして、3年次になっても講義科目をとる、集中講義を利用するなどして、1日2～3コマ以内に抑えていた。1～2年次のうちにはアルバイト・サークルを控えて学業に集中していた。3年次になってアルバイトを始めたが、テスト1週間前からは入れないようにしている等、講義科目の場合、授業外学修60時間を確保するようにしている。

シラバス・moodleに授業外学修でやるべき内容について示してもらえると良い。アンケート結果を見ると予習の時間が少ないので、予習内容について示すと良い。Moodleの小テスト等、学生がスマホ等で取り

組みやすい課題を出すと思う。授業外学修について知って理解してもらうためには、課題の出し方が大事と思う。

小林研究科長

今出された意見のさらに極端な考え方が e-learning。アメリカの例では、一つの授業で 20 以上のたくさんの設問を用意し、学生がオンラインで回答し、教員や TA が回答し、添削している。

学部 3 年（緑）

授業外学修についての理解を深めても、学生が実際に行うかは別問題。シラバスには参考図書が載っていることが多いが、実際に読んで授業に参加してる学生は少ないと思われる。また、その授業は参考図書を読まなくても授業に参加して内容が理解でき、試験を受ければ単位を取れる状況にあると思われる。まず、授業外学修を行わせる状況にして、「これが授業外学修だったんだ」という認識を持たせることで、結果的に理解が深まるのでは？授業外学修のやり方を覚えれば、自主的に行うようになると思う。

小林研究科長

例えば、事前レポートを課す等？

学部 3 年（緑）

そう思う。教員が次回の内容の範囲を伝え、事前レポートを提出させる。先の大学院生の意見にあったように学部生のうちから論文に触れさせること、論文の要約等を事前レポートで出させるのもいいのではないか。その論文を元に授業を進めていけばより理解も深まる。

小林研究科長

私も取り入れてみたいと思う。

修士 2 年（緑）

修士に入学してから、研究テーマを探す際のものの見方に苦労している。学部の時にトレーニングをしておけば良かったと思っている。

自分は他大学出身だが、学部の授業で印象的だったものとして、資料の読み方を学生と一緒に考え、学生からの意見を紹介し、解釈の仕方をディスカッションするというものがあった。その授業にはレポート課題もあったが、授業の中で資料の読み方のトレーニングをしていたおかげで、授業で学んだ見方を生かすことができた。レポートを書くための資料探しも行い、結果的に長い学修時間をかけたと思うが、有意義な授業だったと思う。

すべての授業で同じことを行うのは難しいと思うが、授業時間外でどのような学修をすれば良いか、教員が学生にどのようなスキルを身につけることを求めているのか、分かると良い。そのような授業が増えれば良いと思っている。

小林研究科長

ご意見ありがとうございます。

授業外学修の理解や確保の方法について色々なご意見をいただきました。

その他、授業外学修の充実のための要望についてお聞きします。

学部3年（園）

（事前打合せで出た意見）

- ・Wi-fi 設備を充実させてほしい。入るエリアと入らないエリアがある（E-102 はつながるが E-103 はつながらない等）
- ・教室の温度管理について（快適な環境にしてほしい）
- ・学生ホールの環境について（静かに勉強したい人と、人と議論しながら勉強したい人がいる。）
- ・図書館の仮自習スペース（C 棟）は元は実験室のため、机の高さ等が勉強に適していない。
- ・自習に空き教室を使いたい。（節電等、使用を抑制する張り紙がある）

小林研究科長

最後の方の問題（自習スペース）については、図書館が改修中のこともあり迷惑をかけている。学生ホールは我々の考えではコミュニケーションスペース（会話をする場所）と考えている。（静かに）勉強する場所は C 棟の仮自習スペースなので、机等の状況を確認し、早急に改善したい。図書館の再オープンは来年 10 月の予定。仮自習スペースは何時まで開いているのか。

野田松戸分館係長

図書館と同じ時間帯で開室しているので、夜は 21 時まで使える。

学部3年（園）

一人暮らしの人等は家では勉強しないが、友達と一緒になら、大学なら勉強をやる気になる人もいる。また、夕方から夜に研究室に来る人もいると思うので、そういう人達が見えるスペースだと良い。

小林研究科長

西千葉の図書館は何時まで開いているのか？

野田松戸分館係長

西千葉は 22 時 30 分まで使える。

小林研究科長

こちらもそれぐらいの時間まで利用できるようにしたい。

松岡教務委員長

3 年次はカードを登録しないと（夜間は）C 棟に入れないと思う。

学部3年（園）

カードの入館登録については自分も最近知ったので、そういった情報について周知してほしい。自分の研究室は柏の葉のため、情報が伝わってこなかった。

小林研究科長

C棟自習スペースの趣旨は、皆が使うものなので、3年次や2年次も使えるように(入館登録について)案内する。

松岡教務委員長

Wi-fiは少しずつ使えるスペースを増やしている。

修士1年(応)

研究棟は昼間は誰でも入れる状況だが、セキュリティ面で検討いただけないか?夜20時以降はカードキーがなければ入れないが、それ以前の問題で、誰でも入れる状況というのはどうかと思う。

小林研究科長

それについてはさまざまな考え方がある。今ぐらいオープンで良いという考え方もある。

学部3年(園)

E棟2階の合同講義室で授業中に、赤ちゃんをベビーカーに乗せた母親が建物に入ってきて、泣き声で驚いたことがあった。

修士1年(応)

西千葉だと門に守衛がいる。松戸は治安が悪く、(キャンパスを)人が多く通るので、守衛をおくか、事務室を(門の)近くに配置するなど、見張りがあると安心できる。

小林研究科長

松戸キャンパスの弱いところだと思うが、そのような人を雇う予算がない。もう一つ、「あかみち」と呼ばれる昔からの慣習で、このキャンパスは外の人が通ってもいい権利があり、完全に締めるわけにいかない。今後の課題。現状は学生に注意喚起を行うことしかできていない。セキュリティの件は検討したい。

菊地アカデミック・リンク担当課長

Wi-fiがつながりにくい件については、全学の学生の生活環境アンケートで、松戸キャンパスのWi-fi環境が悪いという意見があり、それが学長の目にとまり、Wi-fiの予算が措置された経緯がある。そのため、そのようなアンケートには積極的に参加いただきたい。困っていることを具体的に書けば、改善される可能性は高まると思う。大学当局としても、西千葉・亥鼻と同じ授業料をいただいているのに松戸の環境が劣悪であることは承知しており、改善する方向で検討している。意見をどんどん出してほしい。

学部3年(緑)

Wi-fiのエリアはどこまで広がるのか?B・C棟の研究室までカバーされる予定か?

小林研究科長

研究棟のWi-fiについては研究室毎に対応している。

学部 3 年（緑）

自分の研究室は事情があって Wi-fi が使用できず、PC の台数も少ない。3 年生が自習用に PC を持ち込んでも接続できない状況。

小林研究科長

勝手に Wi-fi を増やすことはできず、研究室単位で教員から申請を出す必要がある。研究室の教員に相談したほうが良い。

学部 3 年（緑）

園芸学部の方針案の中で、授業外学修の確保の方法としての「グループワーク」とは？

松岡教務委員長

教室でグループワークを行うために、事前にディスカッションのための資料集めを行い、アウトプットをどうするか等話し合う場を講義 2 時間の中で行うのではなく、予習・復習として行う、それが授業外学修になるという考え。

学部 3 年（緑）

最近、授業でグループワークが増えてきたと実感しているが、内容が雑で、グループを組ませて授業時間内に終わらせ、その後のフィードバックもない、といったものが多い。雑談で終わるような内容。グループワークの数を増やすだけでなく、質を上げないと有効な時間の使い方にならないと思う。

松岡教務委員長

FD 等でグループワークの質を高めることについて教員に周知徹底していきたい。

学部 3 年（応）

応用生命化学科では、プレゼンテーションをグループで行うため、事前準備を授業外学修で行っている。グループで話し合い、パワーポイントを作成する等。こういった内容のグループワークも授業外学修として良いと思う。

小林研究科長

そろそろ時間となりましたので、これで終わりにしたいと思う。どうもありがとうございました。